

女山神籠石



女山神籠石は、女山地区の丘陵に馬蹄状に並ぶ1辺約70センチメートルの立方体に加工された礫岩(れきがん)で、その全長は3キロメートルにも及びます。

女山史跡森林公園展望台



女山史跡森林公園は、女山神籠石や古墳群がある歴史のロマンいっぱいの公園です。

展望台からの眺望が良く、筑後平野や有明海が一望できます。また、春には桜、秋は紅葉も楽しめます。

横尾谷水門(粥餅谷水門)



矢部川沿いに佇む横尾谷水門(粥餅谷水門)は、明治35年に築かれた煉瓦造りの水門です。三連アーチの重厚な佇まいが特徴で、赤レンガの風合いが歴史を物語ります。今も現役で地域を守る貴重な土木遺産です。

長谷水門跡



長谷水門跡は、江戸期の優れた石造技術を伝える遺構です。矢部川の治水を支えた先人の知恵が刻まれ、石組みが往時の姿を今に留めます。水辺に静かに佇む、地域の歴史を語る貴重な土木遺産です。

権現塚古墳



権現塚古墳は、筑後地方最大級の規模を誇る県指定史跡の円墳です。5世紀後半に築かれたとされ、神功皇后の伝説とも深い縁があります。堂々たる墳丘が古代の息吹を伝え、歴史のロマンを肌で感じられる貴重なスポットです。

産女谷水門跡



産女谷水門跡は、矢部川の治水を支えた歴史的な石造遺構です。江戸期の精巧な石組みが今も残り、水辺に佇む姿は往時の情景を伝えます。先人の知恵を今に伝える、地域の歩みを物語る貴重な土木遺産です。

神宿る竹林



「神宿る竹林」は、天高く伸びる竹の間から光が降り注ぐ神秘的な絶景スポットで、静寂な空間はまさに神が宿るような美しさです。日常を忘れ、心洗われる癒やしのひとときを過ごせる注目の名所です。

蜘蛛塚(大塚)



蜘蛛塚(大塚)は、神功皇后が豪族「土蜘蛛」を討伐した伝説が残る史跡です。筑後の地名の由来に関わるともいわれ、古代の歴史とロマンを今に伝えます。静かな佇まいの中に神秘的な趣が漂う、貴重な伝承の地です。

源吾谷水門跡

「源吾谷水門跡」は、かつて農業や干拓を支えた歴史ある遺構です。現在は土の中に埋まっており姿を見ることはできませんが、地中には先人の知恵が今も静かに眠っています。目には見えずとも、地域の歩みを感じさせてくれる貴重な歴史スポットとして大切に語り継がれています。



山門古道

山門高校書道部 書

YAMATO KODO

— 遥かなる日本の源流 —

山人のクニは、日本文化のまほろばの地



山門古道

YAMATO KODO

日本文化の源流を「知って、楽しむ」旅のプログラム

やまと

山人は、クニのまほろば。
日本文化の原点、列島の一隅、山門のクニの歴史・文化の浪漫に光を当てる「山門古道」

「一隅を照らす、此れ即ち国宝なりや」(最澄)

神に祈り、神に誓うことを「知(しる)」と言い、両手に鈴を持って巫女が神を楽しませ、病魔を祓うことを「楽(たのしむ)」という。(白川静)



清水寺

清水寺は、最澄が開いた由緒あるお寺です。三重塔や雪舟作の本坊庭園が見どころで、特に秋の紅葉は圧巻です。静寂に包まれた境内は心洗われる美しさで、四季の彩りに癒やされる名所です。



清水寺楼門(山門)

門は三間一戸二重門、木造入母屋造、階上階下とも36.3平方メートル。造営当時は松皮葺であったが現在銅板葺にかえられ、階上には釈迦如来、文殊師利菩薩の尊像が安置されています。



五百羅漢

釈迦の弟子500人の「自覚」への道を志す、修業僧たちの群像が500体の羅漢となって並んでいる。



清水寺本坊庭園

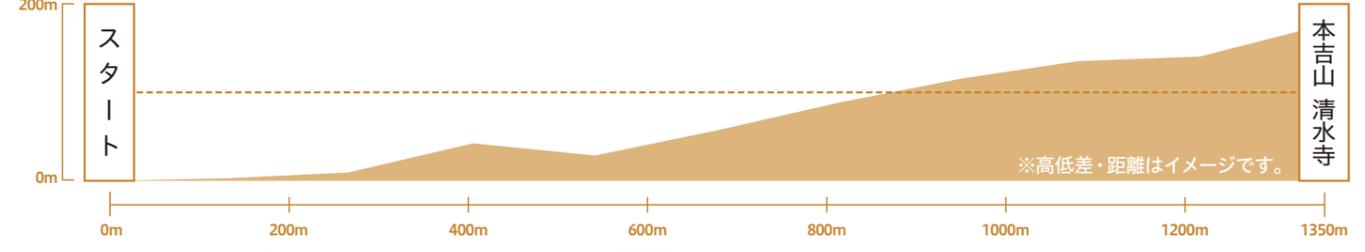
清水寺本坊庭園は、室町時代に画僧・雪舟が中国で学んだ山水技術をいかして築庭されたと伝えられる庭園です。



祈りの道

距離：約1351m
所要時間：約25分

一隅の「宙」を知る、祈りの道のエクスカージョン
雉に導かれ、最澄によって刻まれた千手観音像。両の手に月と太陽、千の手で人々を救う。東山連峰の山裾に、雪舟作庭の本坊庭園。生命の循環が、この一隅の地に完結する宙を知る。
「一隅を照らす、此れ即ち国宝なりや」(最澄)
神に祈り、神に誓うことを「知(しる)」という。(白川静)
十一面千手観音菩薩は、瀬織津姫(天照)の化身である。(宇佐津彦)



500m